



いなべ市農業公園梅林公園

子どもたちの成長を応援

神戸製鋼所から寄附

大安町に事業所を構える㈱神戸製鋼所から障がい児支援の活用を目的に寄附金を受けました。同社は、平成18年度から、子育て支援センターのおもちゃ購入費の寄附を続けています。今年は支援の幅を広げたいという思いから、発達支援に係る道具の購入のために寄附金をいただきました。㈱神戸製鋼所の高倉さんは、「未来を担う子どもたちのために活用してください」と話していました。



1. 寄附金で購入した道具。子どもの認知運動能力が高まるよう、保健センター以外に、市内保育園でも活用する
2. 高倉さん(左)から寄附金を受け取る

市内小中学校で初めて

SDGs推進パートナー

藤原中学校では、給食の残食ゼロの取り組みや、着られなくなった服を難民へ届ける活動などを行っています。その功績から、市は藤原中学校をSDGs推進パートナーに認定しました。認定式で生徒会の藤井拓海さんは、「みんながSDGsを知って、藤原町から世界へ広まっていけば、もっと良い環境になっていくと思う」と話しました。藤原中学校の活動は、市ホームページでも紹介しています。



認定証を手にする生徒会役員の皆さん。藤原中学校では「誰一人取り残さない、質の高い教育をみんなに」「地域を愛し、住み続けられるまちづくり」をテーマとしてSDGsに取り組んでいます。

2年ぶり16回目の出場

四日市ボーイズ全国へ

3月11日(金)、「四日市ボーイズ」の選手6人が、第52回日本少年野球春季全国大会への出場を市長に報告しました。県支部予選では、仲間同士で声を掛け合って集中力を高め、3試合全て完封勝利で優勝。宇野倅生さんは、全国大会出場を前に「チームの持ち前の団結力を生かして、勝ち上がっていきたい」と決意を新たにしていました。



四日市ボーイズは、四日市市に活動拠点を置く硬式野球チーム。日本少年野球春季全国大会への出場16回は、参加42チーム中最多。選手左から、岩花蒼空(大安中2年)、一木燭斗(北勢中2年)、河瀬聡良(員弁中2年)、宇野倅生、津山陽翔、川瀬琥汰朗(北勢中2年) ※敬称略

地域の交通安全に尽力

交通栄誉章(緑十字金章)受賞

多年にわたり交通安全活動に尽力した人に贈られる、交通栄誉章(緑十字金章)を、北勢町の寺西加代子さんが受賞されました。

寺西さんは、平成11年のいなべ地区交通安全協会の女性部発足から部会長を、平成27年からは同協会の副会長を務めるなど、長年にわたる献身的な活動が認められました。この受賞には、家族の支えも不可欠なことから、夫の伸之さんにも感謝状が贈呈されました。



(左から)寺西加代子さん、伸之さん

丹生川保育園



イチゴ、あま〜い!

2月24日(木)に、丹生川保育園の園児43人が、園近くにある「いちご園ニコニコファーム」でいちご狩りをしました。これは、季節を感じる体験で楽しい思い出を作ってもらいたいと、昨年に続き行われました。イチゴ農家の新山英洋さんから収穫方法を教わった園児たちは、手を消毒してから貸し切りのハウスの中でいちご狩りを楽しみました。

新山さんは「コロナでお出かけが制限されていると思う。少しでも地域の子どもたちに喜んでもらえれば」と話しました。今年は、積雪の影響で例年より旬の時期が遅れた分、時間をかけて熟しているので、甘くておいしいイチゴになったそうです。



1,2. ぱくっ!思わず笑顔 3. 広いハウスで間隔をあけて

手作りのひな人形を飾って



ひなまつり会

3月3日(木)、三里保育園で、ひなまつり会がありました。園児たちは、ひなまつりにまつわるクイズに挑戦。おひなさまに飾る花の種類の問題では、答えを考えている時に「ひなまつりの歌にあったよ!」と声が上がると、「うれしいひなまつり」を歌い始め「答えはももの花!」と答え合わせする姿も。

先生たちは、ひなあられやしし餅の由来を話し、「みんなが元気に育つ願いが込められているんだよ」と伝えていました。

この日の給食は特別メニューで、園児たちは、ちらしずしやひなあられに大喜び。ひなまつりを楽しみました。

1. クイズの答えを真剣に考える園児たち 2. 「やったー!」クイズに正解!

